



## 平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月10日

上場会社名 株式会社 アルプス技研 上場取引所 東  
 コード番号 4641 URL http://www.alpsgiken.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 篤  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 渡邊 信之 TEL 045 (640) 3700  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	7,074	18.3	871	24.1	871	21.5	576	24.9
28年12月期第1四半期	5,979	14.3	702	40.8	717	40.7	461	50.0

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 637百万円 (61.9%) 28年12月期第1四半期 393百万円 (10.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	56.39	—
28年12月期第1四半期	45.15	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	16,876	10,867	64.3
28年12月期	16,458	10,843	65.8

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 10,848百万円 28年12月期 10,826百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	38.00	—	60.00	98.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	52.00	—	52.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,260	15.7	1,420	13.1	1,470	12.7	1,010	23.5	98.83
通期	29,000	8.4	3,070	7.5	3,170	7.5	2,130	7.1	208.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期1Q	11,248,489株	28年12月期	11,248,489株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	1,028,945株	28年12月期	1,028,855株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期1Q	10,219,603株	28年12月期1Q	10,219,634株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる条件等については、添付資料2頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により前記予想と異なる場合があります。

(参考) 個別業績予想

平成29年12月期の個別業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益金額
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	11,850	8.1	1,360	6.2	940	15.2	91.98
通期	24,030	6.3	2,830	6.0	1,930	9.8	188.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
3. (参考) .....	10
(1) 平成29年12月期第1四半期の(要約)個別四半期損益計算書 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年1月1日～平成29年3月31日)におけるわが国経済は、政府の各種政策の効果もあり、雇用・所得環境の改善が継続し、景気は緩やかな回復基調にあるものの、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響等により、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループの主要顧客である大手製造業各社において、電機分野については一部弱含みも見られましたが、半導体分野は回復傾向が続きました。また、自動車関連分野は引き続き研究開発投資が活発であり、総じて堅調に推移いたしました。

このような環境の下、当社は「チームアルプス」というビジョンを掲げ、より結束力の高い技術者集団となることを目指しています。また、当社グループの中核である技術者派遣事業では、採用施策の強化、優秀な技術者の確保に努めました。さらに全社を挙げて、高稼働率の維持及び契約単価の向上、チーム派遣の推進等の営業施策に取り組みました。以上のような施策の結果、稼働率は高水準を維持し、稼働人数、契約単価ともに上昇いたしました。これらの技術者派遣事業における諸要因を主因として、当第1四半期連結累計期間の売上高は70億74百万円(前年同期比18.3%増)となりました。また、営業利益につきましては、前年同期に比して増益の8億71百万円(同24.1%増)、経常利益は8億71百万円(同21.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億76百万円(同24.9%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、前第3四半期連結会計期間から、報告セグメントの区分を変更しており、「アウトソーシングサービス事業」の前年同期比については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた上で算出しております。

#### ① アウトソーシングサービス事業

当社の主要事業であるアウトソーシングサービス事業におきましては、優秀な人材の確保、契約単価の改善を柱とした、採用及び営業施策に注力した結果、稼働人数は増加し、契約単価も上昇いたしました。さらに、子会社の業績も堅調に推移した結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は68億8百万円(同16.5%増)、営業利益は8億17百万円(同19.2%増)となりました。

#### ② グローバル事業

グローバル事業におきましては、エンジニアリング事業の受注案件の採算性向上、一部大型工事の検収により、当第1四半期連結累計期間における売上高は2億66百万円(同98.5%増)、営業利益は52百万円(同223.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は168億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億17百万円増加いたしました。これは、主に繰延税金資産の増加によるものであります。負債合計は60億9百万円となり前連結会計年度末に比べ3億94百万円増加いたしました。これは、主に賞与引当金の増加によるものであります。この結果、純資産の部は108億67百万円となり前連結会計年度末に比べ23百万円増加いたしました。

これらの結果、自己資本比率は64.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の業績予想につきましては、欧米やアジア新興国等の経済の先行きや、政策の不確実性による影響の懸念があるものの、当社グループに対する足下の派遣要請は引き続き堅調のため、平成29年2月14日に公表いたしました連結・個別業績予想に変更はございません。

なお、配当予想についても、変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,311,554	7,100,415
受取手形及び売掛金	3,916,462	4,133,379
仕掛品	235,651	346,637
原材料及び貯蔵品	1,111	1,111
繰延税金資産	407,275	678,804
その他	296,929	296,865
貸倒引当金	△1,629	△1,755
流動資産合計	12,167,354	12,555,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,100,617	2,134,459
減価償却累計額	△1,285,936	△1,293,765
建物及び構築物(純額)	814,681	840,694
土地	1,409,651	1,402,850
その他	438,456	410,284
減価償却累計額	△394,955	△389,931
その他(純額)	43,501	20,352
有形固定資産合計	2,267,833	2,263,896
無形固定資産		
のれん	462,431	447,514
その他	65,381	59,267
無形固定資産合計	527,812	506,781
投資その他の資産		
投資有価証券	963,032	1,046,745
繰延税金資産	49,095	42,819
その他	807,570	789,409
減価償却累計額	△305,172	△309,737
その他(純額)	502,397	479,671
貸倒引当金	△19,204	△19,204
投資その他の資産合計	1,495,320	1,550,032
固定資産合計	4,290,967	4,320,710
資産合計	16,458,322	16,876,168

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,974	64,292
短期借入金	720,000	720,000
未払金	1,396,176	1,035,009
未払法人税等	513,140	571,482
賞与引当金	886,233	1,762,988
役員賞与引当金	19,593	5,940
その他	1,697,736	1,508,246
流動負債合計	5,289,854	5,667,958
固定負債		
退職給付に係る負債	313,942	317,879
繰延税金負債	—	12,662
その他	11,129	10,619
固定負債合計	325,072	341,162
負債合計	5,614,926	6,009,121
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,347,163	2,347,163
資本剰余金	2,785,329	2,785,329
利益剰余金	6,461,651	6,424,763
自己株式	△1,026,636	△1,026,973
株主資本合計	10,567,507	10,530,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,280	291,233
為替換算調整勘定	27,067	27,270
その他の包括利益累計額合計	259,347	318,503
非支配株主持分	16,539	18,261
純資産合計	10,843,395	10,867,047
負債純資産合計	16,458,322	16,876,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	5,979,184	7,074,383
売上原価	4,382,957	5,203,214
売上総利益	1,596,227	1,871,169
販売費及び一般管理費	894,169	999,752
営業利益	702,058	871,416
営業外収益		
受取利息	573	191
受取配当金	100	100
助成金収入	2,404	2,254
受取賃貸料	11,213	11,295
為替差益	1,440	—
その他	7,531	6,723
営業外収益合計	23,265	20,563
営業外費用		
支払利息	551	433
為替差損	—	1,560
その他	7,519	18,610
営業外費用合計	8,071	20,603
経常利益	717,252	871,377
特別利益		
固定資産売却益	1	433
特別利益合計	1	433
特別損失		
固定資産売却損	—	6,926
固定資産除却損	18	2,678
投資有価証券評価損	300	—
保険解約損	—	665
特別損失合計	319	10,269
税金等調整前四半期純利益	716,934	861,540
法人税、住民税及び事業税	554,756	561,247
法人税等調整額	△298,926	△277,351
法人税等合計	255,829	283,895
四半期純利益	461,104	577,644
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△306	1,354
親会社株主に帰属する四半期純利益	461,410	576,289



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	461,104	577,644
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,061	58,952
為替換算調整勘定	△22,552	569
その他の包括利益合計	△67,613	59,522
四半期包括利益	393,490	637,166
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394,437	635,445
非支配株主に係る四半期包括利益	△946	1,721

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アウトソーシング サービス事業	グローバル事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,845,014	134,170	5,979,184
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	30,597	30,597
計	5,845,014	164,767	6,009,782
セグメント利益	685,218	16,209	701,428

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	701,428
セグメント間取引消去	630
四半期連結損益計算書の営業利益	702,058

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アウトソーシング サービス事業	グローバル事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,808,014	266,368	7,074,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	52,569	52,569
計	6,808,014	318,938	7,126,952
セグメント利益	817,061	52,456	869,517

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	869,517
セグメント間取引消去	1,898
四半期連結損益計算書の営業利益	871,416

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

平成28年9月12日付で、グループの経営資源の集約、事業効率の向上により、企業価値を一層高めることを目的として、(株)アルプスビジネスサービスによる(株)アルプスキャリアデザインとの統合(吸収合併)を行ないました。これに伴い、従来「職業紹介事業」に含まれていた(株)アルプスキャリアデザインの事業を、前第3四半期連結会計期間より、「アウトソーシングサービス事業」に含めております。

また、前第3四半期連結会計期間末より連結の範囲に含めた(株)パナR&Dを「アウトソーシングサービス事業」に追加しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. (参考)

(1) 平成29年12月期第1四半期の(要約)個別四半期損益計算書

科 目	前第1四半期累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
	金額(千円)	金額(千円)
I 売上高	5,448,272	5,956,143
II 売上原価	3,987,413	4,363,088
売上総利益	1,460,859	1,593,054
III 販売費及び一般管理費	830,478	856,813
営業利益	630,381	736,240
IV 営業外収益	77,781	178,125
V 営業外費用	9,612	28,609
経常利益	698,550	885,757
VI 特別利益	—	433
VII 特別損失	319	10,265
税引前四半期純利益	698,230	875,924
法人税、住民税及び事業税	523,191	525,424
法人税等調整額	△283,618	△284,105
四半期純利益	458,657	634,605

- (注) 1. 四半期損益計算書は、法定開示におけるレビュー対象とはなりません。  
 2. 四半期損益計算書は、「四半期財務諸表等規則」に従い作成し、要約した上で記載しております。